

---

# 真・恋姫†学園～北郷一刀物語～

夜桜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真・恋姫十学園〜北郷一刀物語〜

### 【Nコード】

N9294Z

### 【作者名】

夜桜

### 【あらすじ】

女子高から共学になったばかりの学園。聖フランチェスカ学園に転入してきた、俺：北郷一刀は、友情と愛を育む…というのは嘘で、様々な面倒ごとに巻き込まれドタバタな学園生活を…：大家さんと秘密の関係（妄想）！？ 元お嬢様やビキニー丁の漢女もお隣だつたり！？ 変な仮面を着けた女に無理やり演劇部や黒髪美女にも無理やり剣道部に！？ バイトは綺麗なお姉さんが経営する銭湯！？ 男友達と馬鹿なことをやつたり！？ 触覚がある赤髪の女の子を拾つたり！？ お尻が大きい読者モデルのボディーガード！？

ドタバタだけでも充実した学園生活を過ごすのだった。

【恋姫十日記4月1日土曜日】？

俺の名は、北郷一乃。

今日から、聖フランチェスカ学園に三年生として、転校してきた者だ。

俺が転校することになったのは祖父の一言が原因だった。

元々、俺は野郎ばかりの男子校に通っていたのだが、突然祖父が…

‘早く、可愛い孫が彼女を連れてくる姿が見たいのお’

と言う、理由で俺は祖父に無理やり、聖フランチェスカ学園に転校させられてしまった。

聖フランチェスカ学園は、元々女子高だったが数年前に共学になったらしい、祖父曰わく可愛い子がたくさん居る…らしい。

数日前のことを思いだしながら、歩いていると俺はある看板を見つけた。

『桃園アパート……ここか…』

桃園アパート、俺が聖フランチェスカ学園に通うために部屋を借りたアパートである。

実は、俺の家は九州を代表とする金持ち、東西南北の名を持つ家

系で学園の寮にも入れるのだが、祖父がついでに自給自足というものを経験しろと言って、転入金と桃園アパートの1ヶ月の家賃の三万円と最初の1ヶ月の生活費10万円のみ支給して、卒業するまで学費や生活費はバイトをしながら頑張れ……らしい。

『…バイト、探さなくちゃな』

溜め息混じりに呟いていた時だった。

『あ…もしかして、北郷一刀君かしら？』

後ろから不意に話しかけられたのだった。

『…？ はい、そうですけど』

振り向くと薄紫色の長髪を煌びやかにさせた超絶美人が立っていた。

『よかった！ 今日、到着すると聞いていたのでお待ちしてたんです』

『あ、もしかして…この桃園アパートの』

『はい！ 大家の黄坂紫苑（こうさか しおん）と申します』

この人が大家さん…か、よかった、良い人そうだな。

『えっと、今日からお世話になる北郷一刀です。』

俺はそっと、手をさしのばすと大家さんは、握手をしてくれた。

『では、お部屋にご案内しますね』

『はい、よろしく願います』

俺は、大家さんの後を追っていく。

…うん。めちゃくちや、後ろ姿も美人だなあ

『あの、大家さんは、お一人でここを？』

なんとなく気になった俺は大家さんに聞いてみると

『いえ、娘が一人居ます』

あゝ、うん。そうだよね、こんな美人が一人なわけないよね  
『娘さんが…じゃあ、旦那さんは羨ましいですね。こんな美人な  
奥さんが居るなんて』

俺は、なんとなく、口にしてしまった。

ーすると

『旦那は居ません…娘が産まれて数年後に亡くなりました』

『え？ あ、ごめんなさい。俺、聞いちゃいけないことを』

何してんだ俺！！ 俺のバカ！！

『大丈夫です、謝らないでください。 あ、お部屋は二回です』

大家さんは、そう言つと階段を上り始めた。

俺は、場の空気を変えるために

『あの、このアパートって、他にも住んでる人居ますか？』

これは、かなり重要である。居るなら、ご近所付き合いが大切だからね！

『はい、北郷君が入りましたのでこのアパートの全部屋が埋まりました。』

わたしは、娘と一階の左から一番目の一号室に住んで居ますわ。』

『一階の一号室ですね』

覚えておかなくては、家賃を払うとき必要だからな。

『他の人達は、みんな北郷君と一緒にの学生さん達ですよ。』

聖フランチェスカ学園

『他の人達は、みんな北郷君と一緒にの学生さん達ですよ。』

聖フランチェスカ学園に近いから多いんです』

『そうなんですか！ みんな、学生ならすぐに仲良くなれそうで安心しました』

本当によかった、おじさんとかじゃなくて

『着きましたよ。ここが北郷君のお部屋です、二階に上がって左から二番目、七号室です』

『七号室…よし、覚えた』

『では、これがカギです。わたしがお掃除を、それと業者さんが家具を運んでいました』

『掃除、ありがとうございました！』

ああ…やっぱり、優しい人だなあ

『あ！このアパートとトイレはあるのですが、手違いでお風呂を作るのを忘れてしまっていて、でも、安心してください！近所に銭湯がありますので、皆さんそこでお風呂に入っていますので』

『そうなんですか、全然大丈夫ですよ！俺、銭湯に憧れていんです！』

マジかー！俺、ゆっくりと長風呂するタイプだから、個別の風呂が良かったんだが…まあ、しょうがないか！

『それでは、わたしはこれで。何かあったら、何でもわたしに聞いてくださいね』

『はい、ありがとうございました！』

大家さんは、自分の部屋に戻って行った。

『なんだかんだ言って、楽しい人生になりそうだ！』



そう意気込むと俺は、春になったとはいえ、まだまだ肌寒く、自分の部屋にそそくさと入ったのだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9294z/>

---

真・恋姫十学園～北郷一刀物語～

2011年12月29日00時45分発行